

# 中村設計新聞

## 第二十号



五月二十一日(土)曇り  
今月の土曜研修は現在行われている、大天守の修理を見学するため、姫路城に行ってきました。

○はじめに



昭和の大修理から四十五年ぶりの大改修が行われている姫路城を、シルバークロスワードパズルと共に見学しました。大天守の改修も素屋根内部より見学でき、間近で工事の様子を見ることができました。また、姫路城を楽しむために、研修員特製のクロスワードパズルを解きながら見学してもらいました。あいにくの曇り空でしたが、昼食は姫路城を背景に三の丸広場にて播州名物の穴子弁当を頂きました。

世界遺産・国宝に指定されている姫路城の独特な建築構造と、人の習性を活かした造りを学んでみました。

広場から見上げた姫路城の素屋根部分



### 姫路城見学スケジュール

電車にて京都駅から姫路駅に移動

姫路城 三の丸広場にて昼食

シルバークロスワードパズルによる姫路城見学

解散



### レポート

姫路城・大天守見学を通じて

感じたこと

五月二十一日、大天守保存修理工事の姫路城へ見学に行ってきました。姫路城内は、いたるところに外敵から身を守る知恵が盛り込まれており、石垣を緩やかにカーブさせて敵を誘導する「しのぎづみ」。

天守へ登る途中の道を下り坂にして敵を惑わす策。錯愕が当る位置に梁を持つてきての通行妨害方法

など、人間の習性を巧みに利用した防護策に感動しました。これらの仕組みを考えた人は敵の立場になりきって考えただけでなく、常日頃から人間観察を怠らなかつたのではないかと思いました。また、敵を欺くことを考えられている姫路城ですが、考え方の根本は建物を使う人の立場にたつて考えることに繋がっているのでは、と思います。



指示が出しだしやすい様々な形の鉄砲狭間

私も様々な人の立場にたつて物事が見られるように、日々精進していきたいと思えます。新人、滝根でした。

レポート

滝根 世斎



歴代城主の家紋を刻んだ軒瓦



顔に見える石垣。分かりますか？



素屋根内部から見た大天守



姫路城を背景に昼食



葉書の語源となった多羅葉の葉っぱ



千姫について勉強中

### ○まとめ

今回の見学で姫路城の様々なしくみを知ることができました。何度か姫路城を訪れている所員も新たな発見をすることができたという意見が多かったです。

シルバークロスワードパズルの熱心な気持ちも伝わり、とても有意義な時間を過ごすことができました。

普段では見ることのできない大天守も、目線と同じ高さで見ることができ、とても貴重な時間を過ごすことができました。

最後に素屋根をバックに記念撮影



### 姫路城クイズ

クロスワードパズルの中からクイズです！

「夜になると娘の亡霊が現れ、お皿を数える」という怪談話の題名は「皿屋敷」  
国宝に指定されている城は姫路城、彦根城、犬山城、「城」

の中に入る言葉を埋めてください。正解は来月号で！

### ゴーヤ三年目突入！



今年梅雨入りが早く、暑く長い夏になると言われています。そんな中、今年も夏の日差しを遮るため、ゴーヤカーテンの出番となりました！

今年でゴーヤカーテンを始めてから三年目となりました。震災の影響で省エネが求められている今、ゴーヤが少しでも役に立ってくればと思います。

窓一面をゴーヤの葉が覆ってくれることを祈りつつ、成長を楽しみたいと思います

二階室内から見たゴーヤたち

